



研修の様子



第 11 期生退所式



第11期生7人が5月29日、新規就農者としての第一歩を踏み出しました。

第11期生は、野中公彦組合長から1人ずつ修了証書を授与されたあと、研修成果報告を発表。研修を振り返り、感じたことや就農への意気込み、今後の課題を報告しました。

野中組合長は、「品質へのこだわりを追求しつつ、仲間とともに変化を恐れず挑戦し続けてほしい」と激励の言葉を贈りました。

1 年間を振り返って

農業は体力仕事のイメージが強かったですが、毎日気温や湿度、苗の状態を細かく観察して変化に応じて管理を変えていく必要があり、農業は繊細で奥深い仕事であると感じた。

イチゴの苗作りからパック詰めまで一連の流れを経験でき、管理作業の少しの遅れが品質低下につながると学ぶことができた。

研修先の方々から技術だけでなく、農業に対する考え方や責任感についても学ぶことができ、貴重な経験となった。

生産者によってさまざまなやり方があり、正解のないやり方に悩むこともあったが、植物に変化が見られた時は農業の面白さを感じた。

就農支援センター

第12期生研修スタート！

就農支援センター



優れた農業の担い手の育成や地域農業基盤の維持発展に取り組むための施設として、平成27年に建設されました。研修棟や格納庫の他、栽培用ハウスや育苗・採苗施設などを有しています。



いわき 岩木
りすけ 利祐



県内でトップレベルのイチゴ作りができると聞き、以前から挑戦したかった農業を始めようと迷うことなく入所を決意しました。1日を大切に、確実に経験値を積んでいきます。



しもじま けんた
下島 賢大



食を支える農業に魅力を感じ、生産から経営まで携わりたいと考えています。研修では現場での経験を大切にし、実践を通じて確かな技術を身に付けていきたいです。



たばた なおくに
田畑 直邦



在職中に多くの生産者の方と触れ、就農への憧れが強くなりました。妻も鹿児島を離れる意思が固まったため、同センターの研修への参加を決めました。毎日を大切に頑張ります。



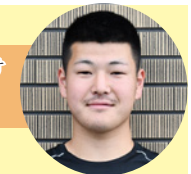
はっとり こうき
服部 功希



数年前から興味があり、思い切って挑戦しようと知人の生産者の方から同センターを紹介していただきました。12期生の仲間と協力し、来年の独り立ちを想定しながら研修で学んでいきます。



ふかまち りゅうすけ
深町 竜佑



実家が農業をしており、幼少期から祖父母や両親のかっこいい姿を見てきて、自分も農業に携わりたいと思いました。皆さんが笑顔になれるイチゴを一生懸命作っていききたいと思います！



つつみ りょうすけ
堤 涼介



農業に憧れがあり、いろいろな方に相談させていただく中で同センターに入所を決めました。分からないことばかりですが、農業で生活していけるよう1年間しっかり学んでいきたいです。



にしぎか ゆうき
西坂 優基



農業を生涯の仕事とするため、栽培技術と経営の基礎を体系的に学びたいと考えています。研修で得た知識や経験を就農後に活かせるよう着実に成長していきたいです。